

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
(第14期 第1年 第1回 第2日)
ぎじろく
議事録

1 日時 2022(令和4)年5月22日(日) 午後2時00分～4時30分

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 23人

アブドウル ジャリル、李 智永、イトウ ユリカ キヤレン、グエン
チュン ザン、戴 淑、タバ ラメス、ドウマヤス アリヤン、バ アブ、
ヒリストバ ガブリエラ、フィゲイロ キム リリアン、ブリツイナ タチヤナ、
ペレーラ ラヒル サンケータ、マイ アサエル、ムハマド アイマン アリフ、
楊 子宜、ユデク マルチン、尹 智夏、李 歆歆、李 晨、刘 英杰、林
芳安、レイバーマン ケビン、ロティニーニ フェデリカ

(2) 事務局

佐藤 課長、菅原 担当課長、佐藤 課長補佐、森下 担当係長、五十嵐
職員、高橋 専門調査員

4 傍聴者 3人

5 会議次第(公開)

(1) 開会

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

ペレーラ委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議、2022年度第1回第2日を開催する。今日は呉さん、野田さん、グエン ヌー フォン ザンさんが欠席だ。それでは、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願いします。」

(事務局佐藤課長補佐が説明)

ペレーラ委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは、議事に入る。まずは臨時会についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料2に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし)臨時会については、今日は説明のみだが、今後、実行委員会で案を固めて、全体会で審議して決めていく。次に、イベントへの参加についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局五十嵐職員が資料3に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。」

バ委員「参加する内容は変わることがあるか。」

ペレーラ委員長「可能性はある。」

バ委員「今日は内容が決まっていない状況で参加するかどうただけ決めるといふとか。」

ペレーラ委員長「そうだ。内容については、先ほどの臨時会と一緒に実行委員会を中心に話し合っ決めていく。」

林委員「代表者会議以外でどのようなブースがあるのか教えて欲しい。」

事務局五十嵐職員「いろいろな団体が参加している。飲食店も多く出る。」

刘委員「内容のステージのところに、代表者会議の紹介とパフォーマンスとあるが、どういったパフォーマンスをしたのか。」

事務局高橋専門調査員「実は、ステージにはほとんど参加したことがない。市民祭りは参加団体が多く、最近ではステージかパレードのどちらかのみというルールになっていたのですが、パレードに参加していた。過去に参加したことはあるが、ステージは何をするのかという部分でなかなか難しいので、ほとんど参加したことがない。」

戴委員「どのくらいの方が参加するイベントなのか。」

事務局五十嵐職員「例年、3日間で60万人ほどの参加がある。」

フィゲイロ委員「私たちの目的は会議のPRだと思うが、前回の内容をみると世界のお茶の提供とある。これはお金がかかると思うが、市からの補助はあるのか。」

事務局五十嵐職員「まず、お茶の提供は無料だ。お茶に関しては、代表者のみなさんに持ってきてもらってそれを提供した。」

林委員「パネルの準備は事務局と一緒にできたりするのか。」

事務局五十嵐職員「やはり、みなさん平日は仕事などがあつたりするので、内容をどうするかは実行委員会で話し合っ、実際につくるのは事務局がやるということが多かった。」

林委員「参加するための予算はあるのか。それとも自分たちで負担するのか。」

事務局五十嵐職員「画用紙やちょっとしたものに関しては用意できるものもあるが、基本的に自由に使えるような予算はない。」

イトウ委員「何かを売ったりしてお金が発生することはない、という理解でよいのか。」

ペレーラ委員長「そうだ。お茶の提供も試飲だ。それでは、そろそろ決をとりたい。市民祭りが開催された場合、代表者会議として参加することに賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）では、開催が決まった場合、事務局は参加の手続きをお願いします。次に、視察についてだ。事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料4に基づき説明）

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。（なし）それでは、順番に聞くので1人1回手を挙げてください。」

- 1 . . . 3人
- 2 . . . 0人
- 3 . . . 2人
- 4 . . . 6人
- 5 . . . 2人
- 6 . . . 1人
- 7 . . . 0人

8 . . . 2人
9 . . . 2人
10 . . . 2人
11 . . . 3人
12 . . . 0人

では、視察先は4番の浮島処理センターに決まった。次に、日程について決めたい。まずは、平日か土日かだが、平日がよい人は手を挙げてください。

(0人) 土日がよい人は手を挙げてください。(22人) 次に、平日か1日かについて決めたい。半日に賛成の人は手を挙げてください。(16人) 1日に賛成の人は手を挙げてください。(6人) では、半日に決まったので、午前か午後か決めたい。午前に賛成の人は手を挙げてください。

(12人) 午後に賛成の人は手を挙げてください。(11人) 最後に、時期についてだが7月に賛成の人は手を挙げてください。(8人) 8月に賛成の人は手を挙げてください。(8人) 9月に賛成の人は手を挙げてください。(7人)」

事務局高橋専門調査員「時期については、どの候補も同じくらいだったので、あとは視察先と調整して、次回にまた候補を提示するというかたちにさせて欲しい。」

ペレーラ委員長「では、次回の会議でまたプランの候補を提示してもらいたい。次の議事は実行委員会についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料5に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。」

イトウ委員「ニューズレターは、年に何回ぐらい出しているか。」

ペレーラ委員長「年に3回発行している。」

戴委員「2つ質問がある。1つ目に、交流イベント実行委員会についてで、市民祭りが中止になった場合は、実行委員の人は臨時会かニューズレターに入りなおすのか。2つ目に、ニューズレター実行委員会は、記事を作成するのでパソコンの作業が得意な人がなった方がよいのか。また、パソコンは事務局が用意してくれるのか。自分のパソコンで作業するのか。」

事務局高橋専門調査員「まず、1つ目の質問だが、市民祭り以外にもたとえば多文化フェスタさいわいなどのイベントもあったりする。仮に市民祭りが中止になっ

でも、すぐに実行委員会がなくなるわけではない。次に、2つ目の質問だが、記事を書いてもらうのは実行委員会の時間ではないので、家で作業してもらうことになる。パソコンは事務局では用意しないので、自分のものを使用して欲しい。レイアウトなどの編集は事務局がやるので、Wordで文章が書ければ高いスキルは必要ない。日本語の文章に関しても、事務局が直したりするので、そこまで心配しなくてよい。関心があれば、ぜひやってみて欲しい。」

バ委員「自分たちでイベントを企画することはないのか。」

事務局高橋専門調査員「コロナ前はオープン会議のときに交流の時間をつくっていたが、これまで代表者会議がイベントを主催したことはない。」

ロティーニ委員「ニューズレターの編集は誰がするのか。」

事務局高橋専門調査員「どのような記事を載せるかということは実行委員会で話し合っていて決めるが、編集作業は事務局がやっている。」

ペレーラ委員長「ほかに何かあるか。(なし)では、順番に決めていく。まず、実行委員会をつくるかどうかだ。つくることに賛成の人は手を挙げてください。

(全員賛成)次に、どの実行委員会をつくるかだ。案では、臨時会、交流イベント、ニューズレターの3つとなっている。この案に賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)では、誰がどの実行委員会に入るか決めたい。

順番に希望を教えて欲しい。(順番に希望を確認)臨時会が9人、交流イベントが9人、ニューズレターが3人なので、やや人数に偏りがある。

ニューズレターに移動してもよいという人はいるか。(楊委員、フィゲイロ委員、尹委員)ご協力ありがとうございます。これで、臨時会が7人、交流

イベントが8人、ニューズレターが6人になった。欠席者には事務局から希望を確認してもらい、必要に応じて調整をお願いする。次に、市の審議会等委員について決めたい。事務局から説明をお願いする。」

(事務局五十嵐職員が資料6に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし)では、順番に決めていきたい。ま

ず、「二十歳を祝うつどい」企画実施委員会をやりたい人は手を挙げてください。(林委員)次に、かわさき市民祭り実行委員会をやりたい人は手を挙

げてください。(希望者がいないため保留)青少年問題協議会をやりたい人は手を挙げてください。(尹委員)国際交流センター活用推進検討

委員会をやりたい人は手を挙げてください。(レイバーマン委員、劉委員 → レイバーマン委員)それでは、もう一度、かわさき市民祭り実行委員会

をやりたい人はいるか。(バ委員)では、今決まったみなさんはよろしく
お願いします。ここで10分間の休憩とする」

(休憩)

ペレーラ委員長「それでは、会議を再開する。次は、第14期の調査審議についてだ。
事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料7に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。」

バ委員「調査審議に必要な場合は関係者を呼ぶことができるとのことだが、必要かど
うかは誰が決めるのか。」

ペレーラ委員長「13期のときには、部会審議の中で専門家からのアドバイスが欲しい
という話になり、大学の先生に来てもらった。」

バ委員「川崎市に住んでいる人か、外国人か。」

ペレーラ委員長「そういった制約はない。ほかにあるか。(なし)それでは、何
か意見はあるか。」

ヒリストバ委員「部会のメンバーは2年間固定という理解でよいか。」

ペレーラ委員長「そうだ。」

林委員「審議スケジュールについてだが、進捗状況によって調整できるのか。」

事務局高橋専門調査員「どうしても予定どおりにいかないことがあるので、そのあた
りは柔軟に調整しながらやっていく。」

バ委員「グループワークのグループわけに関してだが、国籍や性別のバランスをとる
とのことだが、国籍や性別に関係なく、関心の近い人でグループをつくった方
がよいのではないか。」

事務局高橋専門調査員「グループワークはお互いの関心を知るためのものだ。代表者
の関心は様々なので、関心が近い人が集まるのではなく、まずは代表者の中にも
いろいろな考えの人がいるということを知って欲しい。」

イトウ委員「部会は希望する部会に入れるのか。」

ペレーラ委員長「基本的には希望を聞いて決めるが、バランスをみて調整する可能性
はある。」

イトウ委員「もう1つ質問だ。部会長は先に決めるのか。それとも、先に部会の
メンバーを決めてその中から部会長を選ぶのか。」

ペレーラ委員長「先に部会のメンバーを決めてから、部会長を選ぶ。ほかに何かあ
るか。(なし)では、順番に決めていく。まず、部会の設置についてだが、

案のおり部会を設置するということによいか。賛成の人は手を挙げてくださ
い。（ 全員賛成 ）次に、次回はグループワークをするという案だが、賛成
の人は手を挙げてください。（ 全員賛成 ）では、グループの数についてだ
が、A案とB案がある。A案に賛成の人は手を挙げてください。（ 11
人 ）B案に賛成の人は手を挙げてください。（ 12人 ）B案の5つに決
まった。最後に、グループわけについてだが、事務局がバランスを考慮したう
えで案を作成し、正副委員長が確認して承認するということによいか。賛成の
人は手を挙げてください。（ 全員賛成 ）すべて決まったので、今日の議事
は以上だ。事務局から事務連絡をお願いする。」

【事務連絡】

- ・市議会参考人招致の傍聴について

ペレーラ委員長「予定の合う人がいれば、ぜひ傍聴に来て欲しい。これで、今日の
日程は終了だ。次回の会議は、6月19日の日曜日、ここ国際交流センター
で開催する。これで、2022年度第1回第2日の会議を終わりにする。」